

第5学年国語科学習指導案

日 時 平成20年11月12日(水) 5校時
児 童 5年A組男17名 女20名 計37名
指導者 宮本 和典

1 単元名 目的に応じた伝え方を考えよう

2 教材名「ニュース番組作りの現場から」(光村図書5年 下)

3 単元の指導目標

【関心・意欲・態度】・文章構成をつかみ、要旨をとらえて、ニュース番組がどのように作られるかを知り、伝えたいことと伝える方法について興味を深める。

【読むこと】・番組作りの大切な点を的確に押さえながら、報道スタッフの願いなどを読み取る。

・自分たちが番組を作るために必要な事柄を時間の順序にしたがって段落ごとに読み取る。

【書くこと】・自分が伝えたいこと、相手が知りたいことなどを考えて発信する。

・集めた材料を、目的に合わせて整理し、加工して伝える。

【言語の力】・

4 単元について

高学年の読むことの目標は(3)「目的に応じ、内容や要旨を把握しながら読むことができるようにするとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。本単元では「目的や意図などに応じて、文章の内容を的確に押さえながら要旨をとらえること。」や「必要な情報を得るために、効果的な読み方を工夫すること。」に主眼をおいて進めていくのに適した教材である。

本単元では、まず、ニュース番組制作の現場について書かれた文章を読み取り、取材を通して、情報がどのように集められるのか、撮影やインタビューの手順、さらには映像の編集や原稿の書き方等の全体の流れを知る。また、それら全体を通して、発信者の意図や願いがあることを知る。それを知った上で、自らが原稿を書くなどしてニュースを発信する。発信する活動を行うことで、視聴者として接するだけのニュース番組を、今後はより客観的・立体的にみるようになることと考える。

5 児童の実態

児童は「続けてみよう」(五年上)において「新聞記事を話題にしたスピーチに関心をもち、続ける意欲をもつ。」ことを目的とし、今もなお活動を続けている。最近ではテレビの情報にも目を向け、一人一人が発信できるようになってきた。世の中についての興味・関心を高めてきている児童が、社会についての情報を取り入れる方法として新聞やテレビのニュース番組を利用することが多くなってきているのである。そのような状況の中、テレビ放送のニュース番組の裏側を知ることに対して、興味をもつ児童は多い。

「サクラソウとトラマルハナバチ」(五年上)では、教材文を通して「要旨をとらえる」学習を行っている。ここでは、文章の構成から要旨をとらえる読み方を知るとともに、植物と動物の共生関係と筆者の考えに興味をもち、自分の意見をもつ学習をしてきた。文章の要旨を的確に把握するために、文中からキーワードを探し出し、それをもとに要旨をとらえた。本単元では、「番組作りにとって大切なこと、気をつけること」をとらえること自体が要旨をとらえることにつながる部分も出てくる。そして、それが「工夫して発信しよう」における自らの活動に直接つながってくることになる。目的意識を明確にしながら学習を進めていきたい。

6 指導にあたって

「ニュース番組作りの現場から」に書かれた内容が、その後の「工夫して発信しよう」の活動のための手引きになる。その意味でも「ニュース番組作りの現場から」を確実に読み取っておく必要がある。まずは順を追って教材文を分析する。事例を挙げながら説明しているために、児童の視点が本来の「ニュース番組作り」という視点からそれてしまう可能性がある。そこで、順序を追って、文章を整理する。その際には順序を表す言葉に着目させる。文章を時間経過とともに整理した後は、過程毎に「番組作りに大切なことや気をつけていること」に目を向けさせることが必要であることと考える。そのことで本来の目的がより明確になってくることになり、次の活動に繋げやすくなる。単に要旨をとらえようとする、今までの学

習から段落毎に要点をまとめようと試みる児童が出てくることが考えられる。この教材はキーワードや中心文をとらえにくい。そのため内容から判断して、番組作りに必要なことを読み取らなければならない。教材を通して、「ニュース番組作り」の裏側を探り、自分たちの発信に繋げていくことへの目的意識を明確にもたせることで読み取るポイントがより明らかになってくると考える。

7 指導計画と評価規準

段階	時間	学習内容	評価規準
			【】 評価の観点 () 評価方法
つかむ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・題名からニュース番組ができるまでを想像し、自分たちもニュース番組を作ることを知り、見通しをもつ。 ・教材文を通読し、初めて知ったことや興味をもったことを書き、感想を交流する。 	【関】単元の学習に見通しをもち、意欲をもって学習しようとしている。(観察・発言・ノート)
たしかめる	2	<ul style="list-style-type: none"> ・「ニュース番組作りの現場から」全文を読む。 ・書かれている内容を表に整理しながら、学級全体で読む。 	【読】「特集」ができるまでの過程を、教材文を手がかりにしながら、表にまとめている。(ノート)
	3	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の学習方法を生かし、自分の力で教材文の内容を表に整理する。 	
	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「特集」がどんなきっかけで作り始められたのかを読む。 ・番組作りには、それぞれの仕事を担当するスタッフの協力があることを知る。 	【読】番組作りに必要なことを教材文から正確に読み取っている。(発言・ノート)
	5	<ul style="list-style-type: none"> ・番組作りの各過程で大事なことや気をつけることを読んでまとめる。(話題選び、取材、インタビューやさつえい) 	【読】番組作りのそれぞれの過程で大事な点や気をつけることを正確に読み取っている。(発言・ノート)
	6 本時	<ul style="list-style-type: none"> ・番組作りの各過程で大事なことや気をつけることを読んでまとめる。(編集、原稿作り) 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・番組作りの過程を通して、番組スタッフの努力や願いについて話し合う。 	【関/読】いい報道をするために、学ぶことは何かを考えて読んでいる。(ノート)
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・自分がデスクだったら、どんな特集をしたいかを考え、発表し合う。 ・「岩小の特集」というテーマの企画書を書く。 	【関】どんな特集をしたいか意欲的に考えて取り組んでいる。(観察) 【書】どんな特集にしたいか自分なりの思いを書いている。(ノート)
	ひろげる	9	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習と「工夫して発信しよう」から、情報発信までの手順を確認する。
10		<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に企画会議を開く。 	【話】自分の伝えたいことや意図が伝わるように、適切な言葉遣いで話している。(観察)
11		<ul style="list-style-type: none"> ・グループ毎に取材をする。 	【書】目的に応じて、必要な材料を集めている。(観察・原稿)
12 13		<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすく編集する。 	
14		<ul style="list-style-type: none"> ・情報を発信し、発信側の意図と受信側の感想を交流する会を開く。 ・振り返りカードを使って自己評価し、情報の発信や受信について話し合う。 	【書】教材文から学んだ編集や発信の方法を生かし、材料を選んだり配列を考えたり、また写真や図表との関係も考えたりして、原稿を書いている。(観察・原稿・実際の発信)

8 本時の指導（6／14）

（1）目標

- ・【読むこと】番組作り（編集・原稿作り）にとって大切なこと、気をつけることが何かを叙述をもとに読み取る。

（2）本時の具体的評価規準

A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する児童への手立て
一人学びの段階で番組作り（編集・原稿作り）にとって大切なこと、気をつけることを文中の叙述を根拠にしてまとめ、自分の考えを加えている。	番組作り（編集・原稿作り）にとって大切なこと、気をつけることを文中からその根拠を見つけ出し、ノートにまとめている。	もともになる叙述を見つけ出したり、具体的事例から一般化するための手助けになったりするヒントカードを与える。

（3）本時における書く活動の位置づけ

- ・目的である「番組作りにとって大切なこと、気をつけること」の読み取りからそれないようにするために文章にまとめる前に文中にサイドラインを引く。
- ・サイドラインにある文章のままでは、分かりにくい文章であったり、「工夫して発信しよう」で自分自身の活動に繋がらなかつたりする児童が出てくることが考えられる。そこで、サイドラインから短文にまとめる段階において自分にとって分かりやすく書いてまとめる必要がある。
- ・振り返りの段階で分かったことや感想をシートに記入する。今までの作業的なまとめから内容を把握していないとまとめられない文があることに気付かせたい。

（4）展開

段階	学習活動	指導上の留意点 (☆ 評価)
つかむ 5分	1 既習事項を想起する。 2 本時の課題を把握する。 番組作りで大事なことや気をつけることは何だろう。(編集・原稿作り)	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した内容を振り返り、本時の学習課題をつかむ。
深める 35分	3 見通しをもつ。 (1) 学習の流れを知る。 (2) 本時の学習場面を音読する。 (3) 自分たちの番組作りに役立つ情報を見つけることを確認する。 4 問題解決をする。 (1) 一人学びをする。 ○サイドラインをもとにして「編集」と「原稿作り」の「大事なことや気をつけること」を見つけましょう。 (2) 学び合いをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら発信する際に自分たちの活動に生かすことを目的としていることを意識付ける。 ・「原稿作り」の箇所を全員で読み進め、課題につながる部分にサイドラインを引かせる。 ・サイドラインをもとに「大事なことや気をつけること」をノートにまとめる。 ・自力で解決できない児童にはヒントカードを渡し、解決につながるよう支援する。それでも解決につながらない児童が多い場合は集めて支援する。 ・グループ内で話し合い、お互いの考えを出したり友達の考えを聞いたりしながらまとめる。 ・それぞれのグループでまとめたものを発表させる。全体が煩雑な場合は、共通点を見つけさせ、内容を精選させる。 ☆番組作りのそれぞれの過程で大事な点や気を

		つけることを正確に読み取っている。(発言・ノート)
ま と め る 5 分	<p>5 学習内容を振り返り、学習のまとめをする。</p> <p>6 学習を振り返る。 ○今日の学習を振り返り、感想を書きましょう。</p> <p>7 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容や学習方法、自己の変容について触れている児童の記述を紹介したい。 ・次回は、自分たちがどんな心構えで番組作りに携わっていけばよいか、「ニュース番組作りの現場から」を通して、番組スタッフの努力や願いについて話し合うことを伝える。

(5) 板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;">ニュース番組作りの現場から 清水 建宇</p> <p style="text-align: center;">番組作りで大事なことや気をつけることを まとめよう。(編集・原稿作り)</p> </div> <p style="text-align: center;">手がかかり 自分たちの番組作りに役立つこと</p> <p>○編集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短くまとめる。 ・前半はニュースの説明、後半は人々の願いや思い <p>○原稿作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビデオ映像に合わせて文章を書く。 ・分かりやすいように言葉を選ぶ。 ・初めに結論を言い、理由を後から述べる。 ・一文は短くする。 ・主語と述語の間を空けない。 ・地図や表があるとよい。
